

事業名称	
事業名	県営かんがい排水事業
整理番号	24-1
事業の種類	かんがい排水施設の新設又は更新
市町村名	茅野市
箇所名	滝之湯堰地区
事業年度	平成24年度～平成28年度

事業概要	
目的	滝之湯堰は未改修の土型水路区間が多く、漏水による用水不足や、長年の浸食により水路底高の低下等により維持管理に多大な労力を要している。今回その未整備区間の3.2kmを整備し、用水の安定供給と維持管理の低減を図り、農業経営の安定化を図る。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	用水路工 L=3,240m
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし

関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 鳥獣保護法の鳥獣保護区 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし

環境要素	環境配慮の方針
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。
水環境	農業用水を使用しない又は使用量を削減する。 水田や地下水・湧水を保全する。
地形・地質	地域の特性を形成する重要な地形・地質の変更を出来るだけ避ける。 地形の変更の少ない位置・ルート・工法を選定する。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に変更する自然環境の原形復旧に努める。
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の変更を出来るだけ避ける。 河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。 重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。 表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。 落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。 自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。 希少野生動植物の生息・生育環境への負荷の低減
景観	主要な景観資源の変更を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。
自然とのふれあい	不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の変更を出来るだけ避ける。 遊水施設やせせらぎ水路、池、親水護岸、階段や飛び石など水辺空間の整備に努める。 河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。
文化財等	原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	廃棄物・建設残土	建設廃棄物や建設残土の発生抑制を環境配慮の方針として追記して下さい。	既設水路の改修のため、建設廃棄物や建設残土は少量と考えております。また、現場発生の石材については再利用する計画です。
2	文化財	事業箇所における、周知の埋蔵文化財包蔵地の有無について、当該市の教育委員会へ照会し、該当する場合は適切な保護について協議を行ってください。	確認したところ該当ありません。
3	野生動植物	①現場には希少な野生動植物等が生息・生育する可能性があるため、「希少野生動植物の生息・生育環境への負荷の低減」を追記して下さい。 ②土型水路区間が多い工事であることから、ホタルの生息地などとして保全の必要性について地元住民等の意向を確認し、保全が必要である場合は環境配慮を行ってください。	①市町村・土地改良区などと連携し、生息・生育環境の保全対策を行います。 ②ホタルの生息は確認されておませんが、生息が確認された場合は、対応を検討してまいります。